

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスLAKI		
○保護者評価実施期間	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人一人の特性を理解した支援の提供をしている点で高い評価をいただくことができています。 モニタリングや日々の送迎時の申し送りにて保護者様からのニーズを聞き取り、支援計画などに的確に反映することができている点。	児童発達支援管理責任者がモニタリングを行った後、朝礼等でスタッフ全員にモニタリングの結果報告をし、新しい計画の共有や支援方法についての話し合いを行っている。 保護者様との大切なお話の場である帰り送迎時の申し送りは、支援中の様子をスタッフ同士でメモに取り、担当スタッフに伝えるなど、内容が充実するように取り組んでいる。	特性を理解した上で、より専門性の高い支援を提供できるよう職員が研修を受けたり、自主的な学びを増やして知識をつけていく。
2	お子様自身がLAKIへの通所を楽しみにしてくれている。 イベント内容や、帰り送迎時の申し送りにおいて高い満足度を得ることができている。 また、SNS等で発信している点においても安心感を得ることができている。	イベントはお子様楽しそう！と思えるようなもの、保護者様からの満足度が高いと予想されるもの、など様々な内容をスタッフ全体でチームとなり考案している。 また、大型イベントでは、お子様一人一人の写真を撮影して保護者様に共有し、イベント中の様子が伝わりやすいよう工夫してお伝えをしている。	今後のイベント考案も質を落とすことなく、飽きることがないように内容を考案していく。 LAKIとして前例のないことにも積極的に取り組んでいきたい。
3	スタッフ同士の情報交換、意見交換の場が設けられている。 朝礼で時間を設けて前日のお子様の様子の共有や、最近の気になる点などを共有し、それに対する対策をチームで話し合うことができています。その後のフィードバックも全体でできている為、スタッフ全員での共通認識で統一した支援ができています。	業務時間内に終礼をすることができず、終礼その日のうちに共有をすることができなかった場合は、必ず翌日の朝礼で共有し対策や改善策を話し合うことが出来ている。（公休のスタッフにも必ず伝わるように二日間に分けて確認をしている） 日頃からスタッフ同士の会話がしやすい環境が作られている。	引き続きスタッフ同士のコミュニケーションを大切にし、キャリアアップできるような職場環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在地域の関係機関や、地域住民との交流、連携の機会を十分に設けられていない点。 (学校や保育園などは連携あり)	感染症拡大防止などが懸念されることから、事業所として地域との交流を思うように行えていない。	今後は感染防止対策を徹底しながら、地域との交流の場を設けていけるようスタッフ間で検討していく。
2	職員の配置や、子どもの安全確保に関して職員間の周知はできているが、保護者様への周知が不十分な点。	スタッフの異動などの変動があった際に、保護者様への説明が十分に届いていない。	連絡帳、LINEメッセージ、SNS、書面による通信等で今まで以上に職員配置や防災訓練の実施報告などを発信していく。
3	現在、父母の会のような保護者様同士の交流の場の提供や、ご兄弟も参加（参観）できる機会が提供できていない点。	感染症拡大防止などが懸念されることから、事業所として保護者様同士の交流の機会を提供できていない。	今後は感染防止対策を徹底しながら、保護者様同士の交流の場を設けていけるようスタッフ間で検討していく。